

ダニエル・カールの

聞きたい! 消防団

第29回

新潟県新潟市消防団

今回は、東京駅から上越新幹線で乗り換えなし、新潟県新潟市をお訪ねしました。

新潟市消防団は、実員数が全国3位(6,000人以上)という巨大な消防団です。

方面隊ごとに地域の特性に対応したきめ細やかな活動に取り組んでいらっしゃいます。

特に、入団促進の取組や女性消防団員で構成する「ひまわり隊」の活動が大変活発で、平成30

年度には、その功績を称えられ、総務大臣感謝状の贈呈を3部門で受けられています。

そんな新潟市消防団のお話を藤田消防団長、小武内副団長、近藤副団長、中央方面隊長 吉田方面隊長、山崎副方面隊長、ひまわり隊 中川部長、警防課の瀧澤課長、植木係長から伺いましょう。



後列左から、植木係長、吉田方面隊長、山崎副方面隊長、瀧澤課長
前列左から、小武内副団長、中川部長、ダニエル・カール、藤田団長、近藤副団長(新潟市消防局で撮影)

新潟市の概要

ダニエル まずは新潟市の概要を教えてください。

瀧澤課長 新潟市は、サンフランシスコ、天津、リスボンとほぼ同じ緯度であり、東京から北北西約250キロメートル、上越新幹線で約2時間の位置にあります。

日本海、信濃・阿賀野川の両大河、福島潟、鳥屋野潟、ラムサール条約登録湿地である佐潟など、多くの水辺空間と自然に恵まれ、コハクチョウの越冬数は日本一を誇ります。

江戸時代から物流拠点「新潟湊」の機能を生かして賑わいを見せていた「新潟町」は、安政5(1858)年に、アメリカ、イギリスなど5か国との修好通商条約によって、函館・横浜・神戸・長崎とともに、開港5港の1つに指定され、世界に開かれた港町となります。

明治22(1889)年、市制を施行。以来、戦争、大火、地震などにみまわれながらも、その都度復興を遂げて発展。

平成8年には、「中核市」に指定され、平成17(2005)年3月21日、近隣13市町村との合併により、歴史や文化財、郷土芸能、花や豊富な食材、豊かな自然など、様々な面で更に魅力を加え、本州日本海側最大の都市として大きく飛躍しました。

国際空港や港湾、新幹線、高速道路網などが整備された交通拠点であると同時に、国内最大の水田面積を持つ大農業都市でもあるという、他の都市には見られない特徴を兼ね備えており、平成19年4月1日には、本州日本海側初の政令指定都市となりました。

新潟市の面積は、726.45平方キロメートル、人口は、平成31年4月1日現在で78万9千897人、世帯数は、33万8千995世帯となっています。

ダニエル 私も学生時代に佐渡に住んでいたんですよ。新潟市内にもよく来ました。約40年前になりますが、駅周辺の当時の景色が今でも思い出せます。今ではすっかり開発が進んで日本海側では一番の都会なんじゃないですか!?! しかも、東京からの交通が便利ですから、今後もどんどん発展しそうですね。

新潟市消防団の概要

ダニエル そんな素敵なお新潟市を守る消防団の概要を教えてください。

藤田消防団長 本市消防団の組織概要は、平成31年4月1日現在、1団8方面隊63個分団445個班、定数6,443人で実員6,056人、充足率約94%となっています。

そのうち女性消防団員は160名おり、「ひまわり隊」として各方面隊に配置されています。



装備については、消防ポンプ車27台、小型動力ポンプ積載車418台、消防団器具置場は441棟です。

新潟市は、平成13年1月1日に黒埼町と合併、さらに平成17年3月21日には近隣12市町村(3市、4町5村)と、同年10月10日に巻町と合併し、人口約50万人から約80万人へととなりました。

現在の新潟市消防団は、合併により、15の消防団を一旦全て解団し、新しく組織を作りました。

旧新潟市の消防団は、2団28個分団、175班、定数2,659人でしたので、人員・装備とも約2.4倍になりました。

ダニエル 大合併の際には組織が大変身したんですね。管轄区域がものすごく広がったんじゃないですか？ 当時はさぞかし大変だったでしょう。

小武内副団長 合併前はそれぞれ旧消防団で団長を務めていた者が階級を下げて副団長になるわけですからね。だけど、それはみんなの人柄の力で本当にうまくいきました。そして、管轄が広がるだけでなく、人間関係も広がりました。そこには色んな知恵の共有があり、本当に勉強になることが多かったですよ。

災害発生時の活動と公務災害防止

ダニエル 新潟市消防団では、災害時の活動や日頃の訓練での公務災害の防止にどのように取り組まれていますか？

小武内副団長 災害時の活動では、過去の事案の教訓を生かそうと取り組んでいます。



新潟県内での災害というと、皆さんの記憶に新しいのが糸魚川市で発生した大規模火災ではないかと思います。

総務省が発表した「糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方に関する検討会報告書」を踏まえるとともに、新潟県では「糸魚川市大規模火災に関する勉強会」を開催し、情報の共有化を図り、今後取り組むべき事項について検討しました。

新潟市内においても一部の地域が日本海に面しているため、糸魚川市同様の地域性があることから、教訓を生かした訓練内容や安全対策を研究しています。

また、阿賀野川、信濃川という2大河川をはじめ、新潟市内には多数の河川が流れていることから、豪雨災害に対する備えも必要となります。

毎年、出水時期前にあたる5～6月には、各方面隊を2つに分けて水防訓練を実施しており、水防工法作成技術の向上に努めているほか、阿賀野川や信濃川の重要水防箇所への巡視を行い災害に備えています。

近藤副団長 こういった災害現場での活動については、消防団火災防ぎょ活動ガイドラインを作成し、一般建物火災における消防団部隊の基本的な活動や、常備消防部隊と協力した組織的な連携体制の強化と、安全かつ効果的な消防活動技術の向上を図るため、連絡体制、出動体制、活動体制などを定めています。

さらに、津波等災害時における消防団避難誘導活動ガイドラインや行動フローチャートも作成しています。

災害時の活動において、どのように対応するかという消防戦略的な部分もさることながら、まずは自らの安全を確保することを最優先とし、過去に公務災害が発生した事案の検証を重ね、公務災害を発生させないように、訓練や安全対策に取り組み、日頃からの継続した訓練で、実際の消防力に落とし込んでいます。



先日、水防訓練がありました。私は副団長として訓練全体を見ていました。そのときに、こんなことがあったんです。

入団間もない団員が、川から押し寄せてくる濁流に背を向ける格好で作業しているわけです。

その日は訓練ですから広々とした安全な場所かもしれませんが、災害時には作業できない場所にいたり、迫ってくるかもしれない濁流に背を向けていたりしがちなんです。

訓練であっても現場をイメージして行う。これが大事です。

水が押し寄せてくる方向や場所をイメージすることでそこに潜む危険を回避しながら災害に立ち向かうことができるようになるんです。



平常時の活動と公務災害防止

ダニエル ポンプ操法訓練などの普段の活動のときの公務災害防止はどうですか？

山崎副方面隊長 消防団活動の中で、最も訓練回数が多いのがポンプ操法訓練です。火災防ぎよ技術の基礎となる訓練ですので、ポンプ操法の習得は非常に重要です。

ポンプ操法訓練は、他の活動に比べ実施する機会が圧倒的に多いため、公務災害発生件数は活動区分別にみた場合、最も多くなっているのも事実です。

ポンプ操法に取り組んでいる団員が、いかに

ケガをしないように訓練を進められるかというのが最大のテーマです。

個々の体調管理はもとより、指導者はその日の選手の状態に目を配り、準備運動を十分に行うとともに、選手以外の団員は、できるだけ選手の負担を減らすよう訓練の準備や後片付けを積極的に行うなど、チーム全体でバックアップしています。

また、身体の使い方一つ一つを指導者がチェックし、身体に無理な負荷がかからないよう、悪い癖などを指摘しながら訓練を実施しています。



何年か前の県大会の直前、操法訓練最終日のことです。本番に向けて仕上げの最終調整が終わったときでした。なんと管轄区域で火災が発生したんです。

連絡を受けてすぐ現場に急行しました。

私は分団長として指揮を執る立場でしたが、そこでみた団員の動きは、それまでの訓練で身体に叩き込んできたものでした。

あっという間に水利を確保し、ものすごい早さでホースが延長されました。

機関員は筒先員の状況を思いやり、筒先員は機関員が送ってくる水を完璧な注水姿勢で応えました。

安全確実に、息の合った無駄のない連携によって火災を制圧しました。

訓練を通して一緒に攻略してきた一つ一つの動きと信頼関係がそこにありました。

その一切危なげのない動きには、頼もしさがありました。

災害現場や訓練中における公務災害、健康状態を起因とする公務災害等、様々な公務災害がありますが、それぞれにあった対策を進めていきたいと考えています。

先般、消防基金からいただいた「消防団員公務災害防止事例集」には、公務災害の発生原因それぞれに対策を取っている全国の消防団の取組が掲載されていました。私たちにも取り入れられそうなものが多くありましたので、今後の活動に生かしていこうと思います。

また、消防基金の行う、S-KYT研修なども非常に興味があり、取り入れていけるよう検討していきたいです。

消防基金との消防団員公務災害補償責任共済契約

ダニエル 消防基金と新潟県市町村総合事務組合との間に消防団員等公務災害補償責任共済契約が締結されたことで、新潟市もS-KYT研修などの研修会を開催できるようになりました。新潟市消防団でもどんどん活用してみてください！

私もおかげさまで消防基金のお仕事でこちらに初めてお伺いすることができました(笑)。

女性消防団員「ひまわり隊」

ダニエル 新潟市消防団では女性団員さんが大変御活躍されているとのことですが、教えていただけますか？

中川部長(ひまわり隊) 女性消防団員「ひまわり隊」について御紹介します。



「ひまわり隊」は平成18年に発隊し、平成31年4月1日現在160人の女性消防団員がおり、各方面隊で活動しています。

導入経緯としては、平成17年の広域合併の際、旧市町村の消防団に女性消防団員が既に在籍していたことや、平成19年に政令市移行に向けた消防団の活性化と、各行政区方面隊本部事業の推進役として導入することとなり、実員数112名での発足となりました。

愛称「ひまわり隊」のコンセプトは、真夏の空の下、凜として気品さえ感じられる花、明るく周りの人たちに力や勇気を与えてくれる、まさに、これから始まる女性消防団員にふさわしい、愛される「ひまわり」のようでありたいという意味で、消防団員からの募集により愛称を決定しました。

女性消防団員の主な活動内容は、広報活動、防火指導、応急手当指導、行事式典への参加、自主防災組織への協力指導、消防警戒時の後方支援となります。

また、幼児教育として、各保育園等を訪問し、防火紙芝居の読み聞かせや着ぐるみによる防災劇、人形劇等により、防火に対する関心を幼少のころから植え付ける活動を実施しているほか、応急手当指導員の資格を積極的に取得し、



各種イベントや自主防災訓練などを通じて、市民に対し、応急手当の普及を行っています。

さらに、高齢者家庭の防火指導も実施しているほか、各方面隊で女性消防団員を中心に、各世帯に配布する広報誌を作成し、火災予防、消防団の活動紹介、入団促進を呼び掛けたり、イベントごとに配布用のリーフレットを作成したりと多方面で活動しています。

このように、あらゆる機会をとらえ、工夫しながら様々な広報を実施し、消防団活動への理解、火災予防、住宅用火災警報器の設置促進とともに消防団員の入団につなげています。

そのほか、新潟県では、全国で開催されている女性消防団員活性化大会を参考とした新潟県版の活性化大会を、新潟県消防協会の主催で平成27年から各市町村持ち回りで隔年開催しています。第1回は長岡市、第2回は新潟市で開催しました。第3回目となる今年は糸魚川市で開催する予定です。この県内版活性化大会により、全国の活性化大会に参加することが困難な女性団員も参加することができ、県内女性消防団員



の活性化につながっています。

ダニエル 女性の力はすごいですね。防火指導でも皆さんがすぐに地域の方や子どもたちと打ち解けられている姿が目には浮かびます。

消防団への入団促進の取組

ダニエル 新潟市消防団では実員数が近年増加しているそうですね。どのような取組をされているんですか？

吉田方面隊長 新潟市消防団は学生消防団員の入団促進にも力を入れており、大学、専門学校生の若い力を消防団活動に生かしていただいています。

学生の入団数は年々増加傾向にあり、平成31年4月1日現在では214名となっています。

新潟市では平成28年4月1日より「新潟市学生消防団活動認証制度」を運用しており、当制度により学生団員の就職活動を支援しています。

また、消防団員協力事業所表示制度を平成20年3月から施行し、現在289事業所が加入しており、消防団員が活動しやすい環境整備を図っています。



植木係長 新潟市消防団では、より多くの消防団員を確保するため、機会あるごとに入団促進活動を実施しています。

平成26年9月には消防団員入団促進シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムでは、市民や大学・専門学



校生、消防職団員など約500名が参加し「新しい仲間とともに 守ろう大切な街を つなごう未来へ」をスローガンに、本市消防団の現状や入団促進に向けた取組などについて、会場一体となって考えていただきました。シンポジウムを通して、消防団を知っていただく良い機会となりました。

また、隔年で実施している新潟市消防音楽隊コンサートにおいて会場に御来場いただいた約2,500名の方々に対して、入団促進活動を行ったり、アルビレックス新潟の公式試合ハーフタイム中に、スタジアム内で入団促進活動を行ったりと、機会をとらえ積極的に広報を実施しています。



そのほか、平成30年6月25日には新潟市とイオン株式会社が双方の資源を有効に活用した協働のため包括連携協定を締結し、その協定内に、消防団活動への支援を盛り込んでいただきました。この協定によりイオンでの団員募集ポスターの掲示やリーフレットの配布、イベントの実施など、様々な形で広報活動を行えるように

なりました。

また、国や県の事業に積極的に加わり、女性の活躍を捉えた消防団員募集ポスターや映像の撮影、企業向け消防団員募集リーフレットやDVDの撮影、新聞折り込み冊子の紹介記事、テレビ番組での活動紹介や入団促進など、各種メディアを活用した広報を実施しています。また、新潟市の全小学校3・4年生を対象にした社会科の副教材「わたしたちの政令市新潟」という冊子において、消防団の活動紹介をするなど、小学生にも消防団を知っていただく広報を実施しています。

山崎副方面隊長 行政が様々な環境を整えてくださるので、私たち団員も入団勧誘をするときには本当に心強いバックアップになっています。それに応えられるよう私たち自身も勧誘活動を積極的に行っています。

私が新入団員の勧誘をするときに心がけているのは、奥様・旦那様など御家族の理解を得ることです。

消防団の活動は御家族の理解・協力がなければ成り立ちません。どうしてもこの人の力を貸してほしいということを本人だけでなく御家族にも伝えました。

すると、入団後も本人が活動に参加していなかったときなどに、奥様が「あなた行って来なさい!」と檄を飛ばしてくれるんです(笑)。

中川部長(ひまわり隊) 私は消防団に入らないかと娘を誘ったことがありました。そのときは、すぐに断られました。私は親としても団員としても、嫌々やらされているという気持ちでやってほしくなかったから、それ以上無理に誘いませんでした。

本人が消防団をやってみよう、消防団が楽しそうだったときでないと、本人にも周りの団員にも申し訳ないと思ったんです。

でもその約2年後、娘は自分から消防団に入ると言ってくれました。今では何でも分かり合える心強い仲間です！

総務大臣感謝状

藤田消防団長 これらの入団促進活動により、平成29年4月1日から1年間で消防団員数が相当数増加しました。この結果、平成30年12月20日、総務大臣感謝状をいただきました。

感謝状については、

- 1 消防団員が相当数増加した消防団
 - 2 女性団員の入団が多かった消防団
 - 3 学生団員の入団が多かった消防団
- の3部門すべてでの獲得となりました。



今後の展望

藤田消防団長 これからも新潟市の安心・安全を守るため、地域防災力の要である我々消防団

の活動や必要性を広く市民に知っていただくとともに、新潟市消防団の更なる活性化と充実強化に向け、入団促進活動や活動環境整備を図っていきたいと思います。



対談を終えて

私にとっても大変縁のある新潟市。今回、消防基金との消防団員公務災害補償責任共済契約関係が新潟県市町村総合事務組合を通して成立し、こうして消防基金の広報誌で御紹介できたのがとても嬉しいです。

今後も研修会の開催や様々な事業で新潟市消防団へのバックアップも期待したいです。新潟市消防団を応援しています。

新潟市消防団の皆さんの益々の御活躍をお祈りいたします。
(ダニエル・カール)